



写真左から三浦勝範さん、吉田とし子さん

「健康マージャン」は手先と脳を駆使して老化防止を図りながら、ゲームとコミュニケーションを楽しむ人気の競技。昨年の選考会で選ばれた「宮城県チーム」の4人が出場する。

今回インタビューした三浦勝範さん(66)は高知、吉田とし子さん(67)は石川、宮城・仙台の各大会にも出場したことがある、ねりんピック出場経験者だ。「全国から268人も参加者が集まる大会なので行くのが楽しみ」と口をそろえ「前回よりも良い成績を残したい」と気合いも十分だ。マージャン歴40年以上という三浦さんは「前回



競技中の三浦さん

健康マージャン 経験生かし 上位目指す

ねりんピックおいでませ! 山口2015 宮城県代表、いざ出陣



前列左から3人目の高橋さん、後列左から2人目の佐藤さんが出場選手。他は共に練習する「鷺沢ベタンク協会」の皆さん

「鷺沢ベタンク協会」は、民館脇にある広場で練習週2回、栗原市の鷺沢公園を重ねている。会員29人の中から、1996年の協会発足以来、ベタンクを続けてきたベタンクを含んだランを含む4人が選手として出場する。1チーム3人で、1人ずつの順番に木製の目標

ベタンク 練習重ね高得点を

で高得点を出し、出場選手に決まった。佐藤さんは「思った場所にボールを投げるのが難しい。とにかく練習してビュットまでの距離感をつかみ、本番で成果を発揮してチームに貢献し、予選リーグを突破したい」と気を引き締める。



ボールを持った手を前に出し、しっかりと狙いを定めて投げる



石巻市内で稽古をしている西村さん(左)と蛭田さん

ねりんピックの出場経験があり、今大会は大将を務める蛭田貴さん(74)は「攻撃型の人もいれば、待つタイミングを図るのがうまい人もいて、チームのバランスが取れている。剣道は個人の勝負とはいえ、チームワークも重要。出場するからには優勝を目指す」ときっぱり。

初出場の選手もいるが、「各自、これまでの積み重ねが相当あるので問題ない」(蛭田さん)と不安はない。西村さんは「試合だからと気負わずに挑みたい。宮城県の代表として、一戦一戦堂々と勝負する」と力を込めた。

剣道 堂々と一戦必勝

監督の西村悦郎さん(74)をはじめ、5人の選手。手のほとんどが7段という実力者だ。住まいは石巻市、大崎市、登米市、大和町、角田市と点在しているため、普段はそれぞれの地元で稽古を積んでいる。子どもや社会人を指導する立場の人もいる。



緊迫した雰囲気で行う稽古